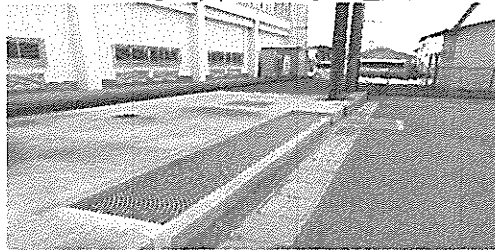


# 「国や県と連携し活用について相談する」と答弁

大谷市議は12月議会で雨水貯留施設の整備に、国の交付金事業の活用について、市の調査結果を質問しました。上下水道局長は「(事業の)採択要件は厳しいという国の見解」「しかし、詳細について国に確認をしている」と答弁しました。

活用に  
国県と  
相談し  
たい  
と答弁  
しまし  
た。



中城グランドに整備された雨水貯留施設の一部

豪雨水害の対策として雨水貯留施設を市は整備していますが、市の単独費用で予算措置をしています。

## 「地域の実情に合った補助制度に」と要望

9月議会で大谷市議は「国の交付金事業が活用できるのではないか、国と協議をすべき」と指摘したことにに対し局長は「改めて国に確認する」と述べていました。

市は「地域の被害の実情に基づいた補助制度になるよう交付金対象範囲の見直しや弾力的な運用を全国市長会を通じて国に要望している」と答弁。さらに「国は下水道浸水被害軽減事業の地区要件の緩和も検討しているので市は期待している」と答弁しました。

# 雨水貯留施設に国の補助金を

## 市議選と参議院選挙で勝利を

日本共産党日田市後援会は14日、市内で新年の旗開きを開催。70人の関係者が参加しました。

来賓で参加した山下魁党大分県委員書記長はあいさつで、安倍政治の強権・うそ・隠ぺいの暴走を厳しく批判。「大分県での野党共闘の前進とそのためにも共産党が市議選で議席を確保し、参議院選挙でも大きな得票の前進のためにご支援をお願いしたい」と訴えました。



大谷市議は「地域経済を壊す消費税増税ストップの運動を広げるとともに、国保税の負担軽減など暮らしを守る市政を前進させるために勝利したい」と訴えました。

補は「アンケートに寄せられた市民の悲痛な叫びを受け止め、安心できるまちづくりを進めたい。ご支援を」と訴えました。その後、参加者は会食しながら懇談し、舞踊、腹話術、ハーモニカの演奏、サザエさんの寸劇、替え歌など多彩な出し物を楽しみながら頑張ろうと決意を語りました。



# 「新年旗開き」を開催

共産党  
後援会



日田市議は「市民の声を議会で届け、その質問回数は議会トップの111回で、中学生までの医療費の無料化を実現した」と述べ、長野信子予定候補



し物を楽しみながら頑張ろうと決意を語りました。